

教員活動報告（2009年1月～12月）

上好 昭孝（学長）

■著書【編著】

上好昭孝，土肥信之編著：医学生・コメディカルのための手引書「リハビリテーション概論」，永井書店，大阪，197頁，2009.2.

上好昭孝：Part5 骨へのカルシウム吸収には運動が不可欠 なかでもウォーキングこそが骨を丈夫にするうえで最もおすすめ，pp176-177. 主婦の友社編，骨粗鬆症をらくらく予防・改善する100のコツ，主婦の友社，東京，2009.7.

上好昭孝：Part5 リュックに1～2Kgの荷物を入れて1日30分の歩きをつづければ骨粗鬆症は改善できます，pp180-182. 主婦の友社編，骨粗鬆症をらくらく予防・改善する100のコツ，主婦の友社，東京，2009.12.

■論文【その他】

上好昭孝：寝返りもうてないほどの腰痛は圧迫骨折の恐れ大で痛みも腰曲がりも退く秘訣は骨量アップのハイハイ歩き，健康雑誌「わかさ」2009，12:158-161.

■講演会・研修会

上好昭孝：関節リウマチの理解とケア，和歌山県地域介護普及センター教育研修会，シティプラザホテル（田辺市），2009.4.12.

上好昭孝：あなたの健康応援セミナー，骨の健康－骨粗鬆症・骨折予防（最新情報），和歌山市西保健センター，2009.9.30.

上好昭孝：関節リウマチの治療に対するパラダイムシフト（早期診断・治療），和歌山リウマチ友の会，橋本市市民体育館，2009.10.25.

■メディア

リハビリテーションの教育，@あっと！テレわか，テレビ和歌山，2009.6.17.

■社会活動

【学会運営】

第21回和歌山臨床RAフォーラム，アバローム紀の国，2009.1.31.

第2回和歌山りうまちケアの会，和歌山びっぐ愛，2009.2.21.

第22回和歌山臨床RAフォーラム，ダイワロイネットホテル和歌山，2009.7.4.

日本臨床リウマチ学会 監事.

日本リハビリテーション学会近畿支部会 監事.

【嘱託委員】

和歌山地区労災審査委員.

東京海上日動火災 嘱託相談委員.

和歌山自賠責損害調査事務所顧問医.

和歌山琴の浦リハビリテーションセンター 監事.

社会福祉法人リハビリ橋本 理事.

寺山 久美子（副学長）

■著書【共著】

寺山久美子：4章 3 リハビリテーション工学支援（28）国際シンボルマーク，p.479. 伊藤利之他 編集幹事：

リハビリテーション事典．中央法規出版，東京，657頁，2009.10.

帝京平成大学環境・マナー委員会編：充実した大学生活を送るためのルールとマナー．帝京平成大学，東京，2009.

■論文

【総説】

寺山久美子：就労作業療法学のカリキュラム 就労支援のあり方～リカレント教育に向けて．作業療法ジャーナル 2009, 43(7):855-859.

【原著】

Murai Chiga, Terayama Kumiko, Tanaka Koko, Ikuta Munehiro, Notoya Masako: Preparation and Evaluation of IADL improvement program for the elderly requiring support. 金沢つるま保健学会誌 2009, 33(2):35-47.

渡辺直美, 山田 孝, 寺山久美子：成人脳性麻痺者は作業療法に何を求めているか．日本保健科学学会誌 2009, 12(2):98-105.

【その他】

寺山久美子：巻頭言 生活支援工学会10年の検証と今後への期待～10周年記念行事を盛り上げよう．日本生活支援工学会誌 2009, 9(2):1.

■メディア

【記事】PT, OTの需給状況と賃金実態. pp6-19, 病院経営, 2009.10.

【投稿】福祉用具の適正な普及に向けて．シルバー新報, 2009.9.25

■社会活動

【学会運営】

日本生活支援工学会会長.

国立更生援護施設のあり方に関する検討会 運営委員.

【嘱託委員】

国立障害者リハビリテーションセンター運営委員.

厚生労働省独立行政法人外部評価委員.

厚生労働省障害保健福祉総合研究推進事業審査委員.

としまコミュニティー大学運営委員.

桜美林大学研究科博士論文審査外部委員.

芝浦工業大学工学研究科博士論文審査外部委員.

日本作業療法士連盟の創立（2009.12.6）及び相談役.

<理学療法学専攻>

岸本 眞

■論文

【原著】

田中康文, 森 光一, 元岡貴史, 沖田幸治, 河崎建人, 藤野文崇, 岸本 眞, 酒井桂太, 倉澤茂樹, 津田勇人, 高瀬敏幸, 大田喜一郎, 河崎 茂：高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニンと理学療法による治療の検討（第2報）. Therapeutic Research 2009, 30(1):93-99.

藤野文崇, 小太武陸, 岸本 眞, 酒井桂太：臨床実習と自己効力感の関係性について．リハビリテーション教育研究 2009, 14:123-125.

■国内学会

【一般口演】

酒井桂太，藤野文崇，久利彩子，古井 透，小忒武陞，岸本 眞，藤平保茂，峰久京子，富樫誠二：内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討．第44回日本理学療法学術大会，東京，2009.5.28-30.

久利彩子，珠数美穂，古井 透，岸本 眞，小忒武陞，酒井桂太，佐竹 勝，富樫誠二，中裕俊介：園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み．第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表，大阪NPOプラザ，2009.8.23.

■講演会

岸本 眞：中枢性運動障害に対するPTの運動分析・指導理論基盤の再考 ―エビデンス基盤から発生論的運動学へ―．浅香山病院理学療法室，堺市，2009.5.22.

■社会活動

【講師】

二分脊椎症について ―機能訓練のお話を中心に―．日本二分脊椎症協会大阪支部，堺市，2009.1.31.

重症心身障害児者介護人養成講座講習会．大阪府重症心身障害児者を支える会，大阪市，2009.10.24, 31.

障がい児への地域支援について考える ～みんなの願い～．和泉市手をつなぐ親の会はびりくらぶ，和泉市，2009.11.28.

泉南市肢体不自由者（児）機能訓練事業，泉南市，2009.4.1-12.31.

貝塚市肢体不自由児者訓練事業 指導員，貝塚市，2009.4.1-12.31.

運動学習相談．大阪府立岸和田支援学校，岸和田市，2009.4.1-12.31.

【嘱託委員】

大阪府立岸和田支援学校学校協議会 評議委員.

社会福祉法人どんまい 理事及び評議委員.

社会福祉法人大阪重症心身障害児者を支える会 評議員.

阪南市泉南市岬町障害程度区分認定審査会委員.

小西 正良

■著書【共著】

小西正良：渡辺正仁 編：理学療法士，作業療法士，言語聴覚士のための解剖学 第4版．廣川書店，東京，369頁，2009.4.

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Aiko Ishii, Masayoshi Konishi, Yuji Tsubota, Toru Furui, Hayato Tsuda, Ichiro Mori, Kiichiro Ota, Kennichi Kakudo: Calcitonin induces connective tissue growth factor through ERK1/2 signaling in renal tubular cells. Experimental and Molecular Medicine 2009, 41 (5):307-315.

小西正良，中村美砂，大田喜一郎：外眼筋に筋紡錘は存在するか．大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2009, 3(2):23-30.

■社会活動

【運営】

中学生サマーセミナー「ヒトの健康と病気～感覚って不思議～ヒトの感覚って意外と鋭い・顕微鏡を覗いてみよう～ミクロの世界の生物たち」．大学コンソーシアム大阪，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.8.24-25.

小太 武陸

■著書【共著】

宮下 智, 沖田幸治, 南本浩之, 和田良広, 大塚智文, 宮下智恵美, 小太武陸, 小林晴名: レッドコード・グループエクササイズー スリング・エクササイズセラピーからレッドコード・エクササイズへー. 三輪書店, 東京, 136頁, 2009.5.

■論文

【原著】

小太武陸: 健常者における歩行速度変化に対する左右膝関節角度の協調性. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2009, 3(2):57-65.

小太武陸, 藤野文崇, 岸上雅彦, 酒井桂太: 本学の理学療法学専攻学生における見学実習に対する状態・特性不安の前後変化. リハビリテーション教育研究 2009, 14:150-152.

藤野文崇, 小太武陸, 岸本 眞, 酒井桂太: 臨床実習と自己効力感の関係性について. リハビリテーション教育研究 2009, 14:123-125.

■国内学会

【一般口演】

Takenori Komatsu, Toru Furui, Seiji Togashi: Coordination pattern of right-left knee joint angles when varied walking speed in person without impairment. The 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009. August 26-28 2009. National Rehabilitation Center For Persons with Disabilities (NRCD), Saitama, JAPAN. Proceeding of the 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009, p229-231.

小日向直美, 吉川榮人, 徳光みなみ, 中尾友紀, 西澤由美, 小太武陸, 藤井良憲: 聴覚によるリズム刺激 (RAS) の即時効果. 第3回日本音楽医療研究会, 順天堂大学有山記念講堂, 2009.11.15.

小森浩史, 小川洋嗣, 松井俊輔, 小太武陸: 当院の脳血管疾患患者における退院後の訪問リハビリテーションの現状と問題点についてー退院時と退院1ヵ月後のFIM変化と要因ー. 第22回兵庫県理学療法士学会, 2009.7.12.

酒井桂太, 藤野文崇, 久利彩子, 古井 透, 小太武陸, 岸本 眞, 藤平保茂, 峰久京子, 富樫誠二: 内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討. 第44回日本理学療法学会大会, 東京, 2009.5.28-30.

久利彩子, 珠数美穂, 古井 透, 岸本 眞, 小太武陸, 酒井桂太, 佐竹 勝, 富樫誠二, 中村俊介: 園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み. 第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表, 大阪NPOプラザ, 2009.8.23.

【ポスター】

勝山 隆, 小太武陸, 久利彩子, 長尾 徹: 体幹の左傾斜が食事動作に及ぼす影響. 第43回日本作業療法学会, 郡山市, 2009.6.19-21.

■講演会

【招待講演】

小太武陸, 沖田幸治: Neurac Basic Course. 臨床理学療法研究会, 尼崎中央病院, 2009.7.25-26.

■勉強会

小太武陸, 小滝昌彦, 村上浩二, 吉田美由紀, 藤野文崇, 海端俊秀: PNFとクラインフォーゲルバッハの融合. Cellar Course ~蔵塾~, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2009.8.29-30.

小太武陸, 藤野文崇, 海端俊秀, 小川成敏: Cellar Course ~蔵塾~, 笠松病院リハビリテーション内, 2009.1-12.

小太武陸：症例検討会．入江病院リハビリテーション科，2009.3.28.

■社会活動

【学会運営】

NPO法人 日本PNF協会 幹事

日本J-Neurac研究会（旧：日本スリングエクササイズセラピー研究会） 地区担当理事及び広報担当

【非常勤講師】

情報科学．河崎会看護専門学校看護第1学科，2009.9-11.

酒井 桂太

■著書

【共著】

酒井桂太：第2章 生活環境の評価と改善計画 ―バリアフリーを踏まえて―. pp.246-261. 鶴見隆正編集（シリーズ監修 奈良 勲）：標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第3版，医学書院，東京，2009.2.

酒井桂太：断端管理法. pp.241-251. 磯崎弘司，両角昌実，横山茂樹編：シンプル理学療法学シリーズ 義肢装具学テキスト，南江堂，東京，2009.7.

酒井桂太：Ⅲ部 4 医学情報の集めかた―単純X線像のみかた（胸部）. pp.626-632. 奈良 勲，内山 靖 編：図説 理学療法検査・測定ガイド 第2版，文光堂，東京，2009.11.

■論文

【原著】

小太武陸，藤野文崇，岸上雅彦，酒井桂太：本学の理学療法学専攻学生における見学実習に対する状態・特性不安の前後変化．リハビリテーション教育研究 2009, 14:150-152.

田中康文，森 光一，元岡貴史，沖田幸治，河崎建人，藤野文崇，岸本 眞，酒井桂太，倉澤茂樹，津田勇人，高瀬敏幸，大田喜一郎，河崎 茂：高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニンと理学療法による治療の検討（第2報）. Therapeutic Research 2009, 30(1):93-99.

藤野文崇，小太武陸，岸本 眞，酒井桂太：臨床実習と自己効力感の関係性について．リハビリテーション教育研究 2009, 14:123-125.

■国内学会

【一般口演】

酒井桂太，藤野文崇，久利彩子，古井 透，小太武陸，岸本 眞，藤平保茂，峰久京子，富樫誠二：内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討．第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.28-30.

久利彩子，珠数美穂，古井 透，岸本 眞，小太武陸，酒井桂太，佐竹 勝，富樫誠二，中裕俊介：園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み．第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表，大阪NPOプラザ，2009.8.23.

■社会活動

【座長】

第44回日本理学療法学会大会 主題演題6 内部障害系理学療法，2009.5.29.

【非常勤講師】

呼吸理学療法．YMCA米子医療福祉専門学校理学療法士科3年生，2009.6.27.

【学会運営】

社団法人日本理学療法士協会 教育・管理系専門理学療法部会部員.

社団法人日本理学療法士協会 理学療法学 査読委員.

メディカルプレス 理学療法編集同人.

医学書院 理学療法ジャーナル編集同人.

田中 康文

■論文

【原著】

田中康文, 森 光一, 元岡貴史, 沖田幸治, 河崎建人, 藤野文崇, 岸本 眞, 酒井桂太, 倉澤茂樹, 津田勇人, 高瀬敏幸, 大田喜一郎, 河崎 茂: 高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニンと理学療法による治療の検討 (第2報). *Therapeutic Research* 2009, 30(1):93-99.

■社会活動

【ボランティア活動】

BLS (一次救命処置) 勉強会 インストラクター, 医療法人河崎会水間病院, 2009.5.9.

坪田 裕司

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Aiko Ishii, Masayoshi Konishi, Yuji Tsubota, Toru Furui, Hayato Tsuda, Ichiro Mori, Kiichiro Ota, Kennichi Kakudo: Calcitonin induces connective tissue growth factor through ERK1/2 signaling in renal tubular cells. *Experimental and Molecular Medicine* 2009, 41(5):307-315.

■国際学会

【一般口演】

Kazunori Iijima, Hiroki Miyaoka, Chiaki Saito, Chinatsu Tomaru, Kyoko Owada, Yuji Tsubota: Circadian oscillation of epileptic discharges detecting by the system using continuous wavelet transform and artificial neural network. 36th International Congress of Physiological Sciences (IUPS2009), Kyoto, JAPAN, July 27-August 1, 2009.

■国内学会

【一般口演】

Yuji Tsubota, Hiroki Miyaoka, Chiaki Saito, Kazunori Iijima, Kyoko Owada: Variation of circadian oscillation of pre-clinical wave in epileptic EEG detected by the automatic system. The 32nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, Nagoya, JAPAN, 2009.9.

坪田裕司, 齊藤千明, 飯島一憲, 大和田恭子: 欠神発作脳波pre-clinical波の発作リズムに見られたバラツキ. 第104回関西実験動物研究会研究発表会, 京都, 2009.12.11.

■社会活動

【講師】

中学生サマーセミナー「ヒトの健康と病気～感覚って不思議～ヒトの感覚って意外と鋭い・顕微鏡を覗いてみよう～ミクロの世界の生物たち」. 大学コンソーシアム大阪, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2009.8.24-25.

【非常勤講師】

第二生理学教室 主に研究指導. 和歌山県立医科大学 大学院生, 2008.4-2009.4.

運動生理学集中講義と演習. 関西総合リハビリテーション専門学校 PTOT 1年生, 2009.2-3.

【学会運営】

日本生理学会 評議員.

関西実験動物研究会 評議員、幹事。

日本実験動物学会 第57回日本実験動物学会総会、プログラム委員、実行委員。

第103回関西実験動物研究会。大会幹事及び座長，京大会館，2009.9.4.

【座長】

第104回関西実験動物研究会。てんかんセッション，みやこめっせ（京都），2009.12.11.

富樫 誠二

■国内学会

【一般口演】

Takenori Komatsu, Toru Furui, Seiji Togashi: Coordination pattern of right-left knee joint angles when varied walking speed in person without impairment. The 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009. August 26-28 2009. National Rehabilitation Center For Persons with Disabilities (NRCD), Saitama, JAPAN. Proceeding of the 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009, p229-231.

酒井桂太，藤野文崇，久利彩子，古井 透，小忒武陸，岸本 眞，藤平保茂，峰久京子，富樫誠二：内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討。第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.28-30.

久利彩子，珠数美穂，古井 透，岸本 眞，小忒武陸，酒井桂太，佐竹 勝，富樫誠二，中裕俊介：園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み。第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表，大阪NPOプラザ，2009.8.23.

■社会活動

【講師】

邑南町2級訪問介護員養成講座，邑南町社会福祉協議会，2009.11.22.

【非常勤講師】

介護予防について。広島文化学園大学 集中講義，2009.8.

【研修会会長及び座長】

第9回 ひろしま転倒予防セミナー 広島県医師会館，2009.7.5.

【学会運営】

広島転倒予防研究会 世話人。

社団法人日本理学療法士協会 法規検討委員会委員長。

■その他

広島文化学園大学健康福祉学科 客員教授。

理学療法ジャーナル 編集同人。

中村 美砂

■論文

【総説】

Yaqiong Li, Misa Nakamura, Kennichi Kakudo: Targeting of the BRAF gene in papillary thyroid carcinoma. Oncology Report 2009, 22(4):671-681.

【原著】

Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Aiko Ishii, Masayoshi Konishi, Yuji Tsubota, Toru Furui, Hayato Tsuda, Ichiro Mori, Kiichiro Ota, Kennichi Kakudo: Calcitonin induces connective tissue growth factor through ERK1/2 signaling in renal

tubular cells. *Experimental and Molecular Medicine* 2009, 41 (5):307-315.

Osamu Nunobiki, Misa Nakamura, Emiko Taniguchi, Hiroto Utsunomiya, Ichiro Mori, Yukari Tsubota, Yoshiya Mabuchi, Kennichi Kakudo: Adrenomedullin, Bcl-2 and microvessel density in normal, hyperplastic and neoplastic endometrium. *Pathology International* 2009, 59 (8):530-536.

Tadashi Yamakawa, Kikumi Ogihara, Misa Nakamura, Hiroto Utsunomiya, Kazuaki Kadonosono, Seigo Kishikawa, Yasuo Terauchi: Effect of dehydroepiandrosterone on atherosclerosis in apolipoprotein E-deficient mice. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis* 2009, 16 (4):501-508.

Yanhua Bai, Gengyin Zhou, Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Ichiro Mori, Emiko Taniguchi, Akira Miyauchi, Yasuhiro Ito, Kennichi Kakudo: Survival impact of psammoma body, stromal calcification, and bone formation in papillary thyroid carcinoma. *Modern Pathology* 2009, 22 (7):887-894.

Yanhua Bai, Kennichi Kakudo, Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Yaqiong Li, Zhiyan Liu, Ichiro Mori, Akira Miyauchi, Gengyin Zhou: Loss of cellular polarity/cohesiveness in the invasive front of papillary thyroid carcinoma and perostin expression. *Cancer Letter* 2009, 281 (2):188-195.

小西正良, 中村美砂, 大田喜一郎: 外眼筋に筋紡錘は存在するか. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2009, 3 (2):23-30.

覚道健一, 尾崎 敬, 亀山香織, 中村美砂: 特集 遺伝性内分泌腫瘍の基礎と臨床 家族性大腸腺腫症における甲状腺病変. *ホルモンと臨床* 2009, 57 (3):279-283.

西上圭子, 森 一郎, 若狭朋子, 中村美砂, 尾崎 敬, 白艶 花, 谷口恵美子, 有田幹雄, 覚道健一: 内分泌病理学最近の進歩2008 消化器内分泌 多発性膵内分泌腫瘍を伴った von Hippel-Lindau 病の剖検例. *ホルモンと臨床* 2009, 57:219-225.

■社会活動

【講師】

中学生サマーセミナー「ヒトの健康と病気～感覚って不思議～ヒトの感覚って意外と鋭い・顕微鏡を覗いてみよう～ミクロの世界の生物たち」. 大学コンソーシアム大阪, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2009.8.24-25.

【学会運営】

日本病理学会 評議員.

日本内分泌学会 代議員.

関西カルシウム懇話会 世話人.

久利 彩子

■国内学会

【一般口演】

酒井桂太, 藤野文崇, 久利彩子, 古井 透, 小杵武隆, 岸本 眞, 藤平保茂, 峰久京子, 富樫誠二: 内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討. 第44回日本理学療法学会大会, 東京, 2009.5.28-30.

野尻有香, 小嶋大樹, 小西有人, 久利彩子, 吉田正樹: 静的姿勢変化時の足趾圧の変化の解析. 第30回バイオメカニズム学術講演会, 北海道大学, 2009.11.14-15.

久利彩子, 小西有人, 吉田正樹: 立位肢位における「浮き趾」足趾接地の変化と足趾筋力. 第30回バイオメカニズム学術講演会, 北海道大学, 2009.11.14-15.

久利彩子, 珠数美穂, 古井 透, 岸本 眞, 小杵武隆, 酒井桂太, 佐竹 勝, 富樫誠二, 中裕俊介: 園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み. 第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表, 大阪NPOプラザ, 2009.8.23.

久利彩子，珠数美穂，古井 透，岸本 眞，小柰武陸，酒井桂太，佐竹 勝，富樫誠二，中裕俊介：園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み．第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表，大阪NPOプラザ，2009.8.23.

【ポスター】

勝山 隆，小柰武陸，久利彩子，長尾 徹：体幹の左傾斜が食事動作に及ぼす影響．第43回日本作業療法学会，郡山市，2009.6.19-21.

久利彩子，勝山 隆，臼井永男，吉田正樹：両足・片脚立位姿勢保持における浮き趾の床面接地について．第44回日本理学療法学会大会，2009.5.28-30.

藤野 文崇

■論文

【原著】

小柰武陸，藤野文崇，岸上雅彦，酒井桂太：本学の理学療法学専攻学生における見学実習に対する状態・特性不安の前後変化．リハビリテーション教育研究 2009, 14:150-152.

田中康文，森 光一，元岡貴史，沖田幸治，河崎建人，藤野文崇，岸本 眞，酒井桂太，倉澤茂樹，津田勇人，高瀬敏幸，大田喜一郎，河崎 茂：高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニンと理学療法による治療の検討（第2報）．Therapeutic Research 2009, 30(1):93-99.

藤野文崇，小柰武陸，岸本 眞，酒井桂太：臨床実習と自己効力感の関係性について．リハビリテーション教育研究 2009, 14:123-125.

藤野文崇，南方良章，小荒井晃，赤松啓一郎，一ノ瀬正和：COPD患者における運動耐容能と薬剤による改善効果の規定因子に関する検討．呼吸 2009, 28(6):653-661.

■国内学会

【一般口演】

酒井桂太，藤野文崇，久利彩子，古井 透，小柰武陸，岸本 眞，藤平保茂，峰久京子，富樫誠二：内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討．第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.28-30.

【ポスター】

藤野文崇，南方良章，田中理江，神田匡兄，功刀亜美，一ノ瀬正和：COPD患者の運動耐容能規定因子の検討．第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.28-30.

■講演会

【一般口演】

藤野文崇：COPD患者における運動耐容能規定因子の検討．和歌山県呼吸不全懇話会，和歌山ビッグ愛，2009.2.21

【招待口演】

藤野文崇：呼吸機能評価 ～臨床に役立つアウトカム～．和歌山県理学療法士協会新人研修会，和歌山県立医科大学，2009.5.17.

■勉強会

小柰武陸，小滝昌彦，村上浩二，吉田美由紀，藤野文崇，海端俊秀：PNFとクラインフォーゲルバッハの融合．Cellar Course ～蔵塾～，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.8.29-30.

小柰武陸，藤野文崇，海端俊秀，小川成敏：Cellar Course ～蔵塾～，笠松病院リハビリテーション内，2009.1-12.

■社会活動

【非常勤講師】

呼吸教室・呼吸器疾患相談．堺市役所，2009.1-12.

情報科学．河崎会看護専門学校看護第2学科，2009.4-7.

藤平 保茂

■論文

【原著】

藤平保茂，伊藤美智子：医療技術学生と体育大学生の身体意識に関する認知構造について．大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2009，3(2):43-55.

■国内学会

【一般口演】

酒井桂太，藤野文崇，久利彩子，古井 透，小太武陸，岸本 眞，藤平保茂，峰久京子，富樫誠二：内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討．第44回日本理学療法学会大会，東京，2009.5.28-30.

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーション．河崎会看護専門学校看護第1学科，2009.6.

リハビリテーション．河崎会看護専門学校看護第2学科，2009.4-2010.1.

リハビリテーション論．四天王寺大学短期大学部生活科学科生活福祉専攻，2009.4-7.

リハビリテーション論．四天王寺大学人間福祉学科，2009.9-2010.1.

【学会運営】

社団法人大阪府理学療法士会 泉州ブロック学術担当 学術運営協力委員.

古井 透

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Aiko Ishii, Masayoshi Konishi, Yuji Tsubota, Toru Furui, Hayato Tsuda, Ichiro Mori, Kiichiro Ota, Kennichi Kakudo: Calcitonin induces connective tissue growth factor through ERK1/2 signaling in renal tubular cells. *Experimental and Molecular Medicine* 2009, 41 (5):307-315.

【その他】

Toru Furui, Masayo Furui, Ikuko Mori: Living with disability: Alternative strategy for an old mother to be led by her daughter with cerebral palsy. American Public Health Association 137th Annual Meeting & Exposition, Philadelphia, PA. U.S.A. 2009.11.8. (This paper is available from APHA official website as follows. <http://apha.confex.com/apha/137am/webprogram/Paper213240.html>)

■国際学会

【一般口演】

Toru Furui, Masayo Furui, Kiyoharu Shiraishi, Hiroyoshi Hashimoto, You Tuchiya: Social outcomes among adults with cerebral palsy with or without cervical surgery for secondary complications. The 3rd International 2009 International Cerebral Palsy Conference, Sydney. Australia. 2009.2.19.

Toru Furui, Masayo Furui, Kiyoharu Shiraishi, Hiroyoshi Hashimoto: Living a life with cerebral palsy pride; the theoretical sociological framework and its significance impacting on disability community. The 3rd International 2009

International Cerebral Palsy Conference, Sydney, Australia. 2009.2.21.

Toru Furui, Masayo Furui, Shuhei Ohta, Ikuko Mori: The Significance of the Activism of People with Cerebral Palsy in Japan. 25th Annual Pacific Rim International Conference on Disabilities, Honolulu, Hawaii. U.S.A. 2009.5.5.

【シンポジスト】

Toru Furui, Masayo Furui: Regional Perspectives on Poverty and Disability. 2009 Pacific Rim International Forum: Advocacy and the convention on the rights of persons with disabilities, Honolulu, Hawaii. U.S.A. 2009.5.2.

■国内学会

【一般口演】

Takenori Komatsu, Toru Furui, Seiji Togashi: Coordination pattern of right-left knee joint angles when varied walking speed in person without impairment. The 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009. August 26-28 2009. National Rehabilitation Center For Persons with Disabilities (NRCD), Saitama, JAPAN. Proceeding of the 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009, p229-231.

Toru Furui, Masayo Furui, Diane Collins: Can service dog contribute to empowerment of people with disabilities? The 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009. National Rehabilitation Center For Persons with Disabilities (NRCD) Saitama JAPAN. August 26-28 2009. Proceeding of the 24th Japanese Conference on the Advancement of Assistive and Rehabilitation Technology 2009, p233-234.

酒井桂太, 藤野文崇, 久利彩子, 古井 透, 小忒武陞, 岸本 眞, 藤平保茂, 峰久京子, 富樫誠二: 内部障害系疾患に対する日常生活活動学実習についての検討. 第44回日本理学療法学会大会, 東京, 2009.5.28-30.

久利彩子, 珠数美穂, 古井 透, 岸本 眞, 小忒武陞, 酒井桂太, 佐竹 勝, 富樫誠二, 中裕俊介: 園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み. 第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表, 大阪NPOプラザ, 2009.8.23.

■社会活動

【講師】

頑張りがもたらす身体への影響. 滋賀県立リハビリテーションセンター県民参画事業「二次障害予防」全体集会『みんなで考えよう健康で暮らし続けるために』, イオンモール草津, 2009.2.8.

障害を持って地域で暮らす「地域理学療法学」. 兵庫医療大学リハビリテーション学部 理学療法学科, 2009.7.17.

【非常勤講師】

リハビリテーション論. 花園大学 社会福祉学部, 2009.4-9.

村西 壽祥

■国内学会

【一般口演】

櫻庭千佳, 清原美和子, 藤田恵子, 阪根 寛, 村西壽祥, 伊藤陽一: 肩関節運動時不安定性を呈する1症例に対する運動療法の試み. 第6回肩の運動機能研究会, 山形, 2009.10.9-10.

中津川記代, 木村祥明, 前田美和, 新戸剛也, 福田吉治, 中土 保, 村西壽祥, 伊藤陽一: 長期にわたる拘縮肩に対する超音波療法の試み. 第6回肩の運動機能研究会, 山形, 2009.10.9-10.

村西壽祥, 伊藤陽一: 外旋筋におけるMRI画像評価と肩外旋筋力評価の関係について. 第6回肩の運動機能研究会, 山形, 2009.10.9-10.

■社会活動

【学会運営】社団法人大阪府理学療法士会 理事（保健福祉局担当）

【嘱託委員】社団法人大阪府理学療法士会 定期総会議長，2009.2.22, 6.28.

＜作業療法学専攻＞

大田喜一郎

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Aiko Ishii, Masayoshi Konishi, Yuji Tsubota, Toru Furui, Hayato Tsuda, Ichiro Mori, Kiichiro Ota, Kennichi Kakudo: Calcitonin induces connective tissue growth factor through ERK1/2 signaling in renal tubular cells. *Experimental and Molecular Medicine* 2009, 41(5):307-315.

小西正良，中村美砂，大田喜一郎：外眼筋に筋紡錘は存在するか．大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2009, 3(2):23-30.

田中康文，森 光一，元岡貴史，沖田幸治，河崎建人，藤野文崇，岸本 眞，酒井桂太，倉澤茂樹，津田勇人，高瀬敏幸，大田喜一郎，河崎 茂：高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニンと理学療法による治療の検討（第2報）．*Therapeutic Research* 2009, 30(1):93-99.

勝山 隆

■国内学会

【ポスター】

勝山 隆，小忒武陸，久利彩子，長尾 徹：体幹の左傾斜が食事動作に及ぼす影響．第43回日本作業療法学会，郡山市，2009.6.19-21.

久利彩子，勝山 隆，臼井永男，吉田正樹：両足・片脚立位姿勢保持における浮き趾の床面接地について．第44回日本理学療法学会大会，2009.5.28-30.

■社会活動

【非常勤講師】

大阪府健康医療部 難病患者地域支援対策推進事業 訪問リハビリ指導，守口保健所，2009.1-12.

加藤 篤

■社会活動

【嘱託委員】京田辺市障害者介護給付費等支給認定審査会 委員.

上島 健

■論文

【原著】

上島 健，嶋野広一，水野貴子，岸上雅彦，倉澤茂樹，津田勇人：学生が記載した臨床実習後のお礼状に関する調査について ～ハガキの宛名における適切さの分析～．*リハビリテーション教育研究* 2009, 14:169-171.

嶋野広一，上島 健，水野貴子，倉澤茂樹，岸上雅彦：大学における地域貢献 ―健康教室参加者の新体力測定からみた一考察―．*リハビリテーション教育研究* 2009, 14:187-188.

【その他】

上島 健：介護保険施設における車いす整備状況とseatingの取り組み ～大阪府下におけるアンケート調査結果より～．大阪作業療法ジャーナル 2009, 23(1):88-89.

■国内学会

【ポスター】

上島 健, 安藤啓司, 長辻永喜：塗り絵作品における完成過程の傾向 ～作品の塗る順序に着目した考察～．第43回日本作業療法学会, 福島県郡山市, 2009.6.19-21.

谷口孝紀, 上島 健, 松下 太, 名倉和幸：介護保険施設における車いす整備状況とseatingの取り組み ～大阪府下におけるアンケート調査結果より～．第43回日本作業療法学会, 福島県郡山市, 2009.6.19-21.

■社会活動

【講師】

身体運動障害特論．神戸大学大学院 人間発達環境学研究科, 2009.6.30.

リハビリテーション医療の基礎知識．大阪府立貝塚高等学校 2年生, 訪問介護員養成研修（2級課程）, 2009.7.27.

バランスに着目したレクリエーション．尼崎市立総合老人福祉センター 総合学習教室 健康教養専科 2009.9.3.

尼崎市社会福祉協議会 住宅改造助成事業, 2009.1-12.

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」．河崎記念講堂 他, 2009.5-12.

【嘱託委員】

社団法人 大阪府作業療法士会 広報部長.

大阪市障害程度区分認定審査会 委員.

バリアフリー展2009 相談員, インテックス大阪, 2009.4.17.

岸上 雅彦

■論文

【原著】

上島 健, 嶋野広一, 水野貴子, 岸上雅彦, 倉澤茂樹, 津田勇人：学生が記載した臨床実習後のお礼状に関する調査について ―ハガキの宛名における適切さの分析―．リハビリテーション教育研究 2009, 14:169-171.

小畠武陸, 藤野文崇, 岸上雅彦, 酒井桂太：本学の理学療法専攻学生における見学実習に対する状態・特性不安の前後変化．リハビリテーション教育研究 2009, 14:150-152.

嶋野広一, 上島 健, 水野貴子, 倉澤茂樹, 岸上雅彦：大学における地域貢献 ―健康教室参加者の新体力測定からみた一考察―．リハビリテーション教育研究 2009, 14:187-188.

■社会活動

【講師】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」．河崎記念講堂 他, 2009.5-12

衣川 満哉

■社会活動

【学会運営】日本作業療法学会 演題審査委員.

【嘱託委員】貝塚市介護認定審査委員.

倉澤 茂樹

■論文

【原著】

上島 健, 嶋野広一, 水野貴子, 岸上雅彦, 倉澤茂樹, 津田勇人: 学生が記載した臨床実習後のお礼状に関する調査についてーハガキの宛名における適切さの分析ー. リハビリテーション教育研究 2009, 14:169-171.

嶋野広一, 上島 健, 水野貴子, 倉澤茂樹, 岸上雅彦: 大学における地域貢献ー健康教室参加者の新体力測定からみた一考察ー. リハビリテーション教育研究 2009, 14:187-188.

田中康文, 森 光一, 元岡貴史, 沖田幸治, 河崎建人, 藤野文崇, 岸本 眞, 酒井桂太, 倉澤茂樹, 津田勇人, 高瀬敏幸, 大田喜一郎, 河崎 茂: 高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニンと理学療法による治療の検討(第2報). Therapeutic Research 2009, 30(1):93-99.

■国内学会

【一般口演】

倉澤茂樹, 吉益光一, 鷺尾昌一, 宮下和久, 福元 仁, 竹村重輝, 横井賀津志, 荒井由美子: 在宅高齢者介護のリタイアに関連する要因. 第67回日本公衆衛生学会総会, 奈良市, 2009.10.21.

【ポスター】

横井賀津志, 高畑進一, 内藤泰男, 倉澤茂樹: 高齢者は, いつ・どんな暮らしの場面で計算するのか?(第3報)ー暮らしの中での計算と注意機能の関係(男女別検討)ー. 第43回日本作業療法学会誌, 郡山市, 2009.6.19.

■社会活動

【座長】

1. 障がい者・高齢者の外出支援に必要な作業療法アプローチ 2. 居宅サービスとの連携により在宅生活が可能となった独居高齢者に対するアプローチ 3. 生きがいと楽しみを持って施設で生活するために 4. 介護老人保健施設入所高齢者の逆唱検査結果と作業提示方法の比較. (一般演題 セッション2) 第25回大阪府作業療法学会, 吹田市 他, 2009.11.29.

【非常勤講師】

公衆衛生学. 河崎会看護専門学校 看護第一学科, 2009.9-2010.3.

リハビリテーション論. 桃山学院大学 社会学部, 2009.4-9.

佐竹 勝

■国内学会

【一般口演】

佐竹 勝: シンポジウムⅡ「教育の質」向上の対策. 第22回教育研究大会・教員研修会, 日本リハビリテーション学校協会, 国際医療福祉大学大田原キャンパス, 2009.8.20.

珠数美穂, 佐竹 勝, 珠数 孝, 小林まき子: リハビリテーション大学における園芸療法実習ー後期の授業内容を中心とした報告ー. 第2回園芸療法学会, ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター, 2009.11.14-15.

久利彩子, 珠数美穂, 古井 透, 岸本 眞, 小畠武陸, 酒井桂太, 佐竹 勝, 富樫誠二, 中裕俊介: 園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み. 第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表, 大阪NPOプラザ, 2009.8.23.

■社会活動

【非常勤講師】

基礎作業学. 日本医療福祉専門学校, 2009.9-12.

精神科作業療法。日本医療福祉専門学校，2009.4-7.

【学会運営】

社団法人日本作業療法士協会 WFOT認定等教育水準審査委員長.

社団法人日本作業療法士協会 演題審査委員.

社団法人日本作業療法士協会学会査読委員.

嶋野 広一

■論文

【原著】

上島 健，嶋野広一，水野貴子，岸上雅彦，倉澤茂樹，津田勇人：学生が記載した臨床実習後のお礼状に関する調査について－ハガキの宛名における適切さの分析－. リハビリテーション教育研究 2009, 14:169-171.

【報告】

嶋野広一，上島 健，水野貴子，倉澤茂樹，岸上雅彦：本学における地域貢献－健康教室参加者の新体力測定からみた一考察－. リハビリテーション教育研究 2009, 14:187-188.

■社会活動

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」. 河崎記念講堂 他, 2009.5-12.

武井 麻喜

■論文

【その他】

Maki Takei, Yuji Iimoto: An analysis of the movement to sit down on the chair with the back and backless chair In consideration of the inflection to guidance of sitting down in cares. Proceedings of the 5th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine 2009, 128-131.

■国際学会

【ポスター】

Maki Takei, Yuji Iimoto: An analysis of the movement to sit down on the chair with the back and backless chair In consideration of the inflection to guidance of sitting down in cares. 5Th World Congress of the International Society of Physical & Rehabilitation Medicine (ISPRM), Istanbul,Turkey, June13-17, 2009.

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーション. 河崎会看護専門学校 看護第1学科2年生, 2009.6.

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」. 河崎記念講堂 他, 2009.5-12.

津田 勇人

■論文

【原著】

Misa Nakamura, Takashi Ozaki, Aiko Ishii, Masayoshi Konishi, Yuji Tsubota, Toru Furui, Hayato Tsuda, Ichiro Mori, Kiichiro Ota, Kennichi Kakudo: Calcitonin induces connective tissue growth factor through ERK1/2 signaling in renal tubular cells. Experimental and Molecular Medicine 2009, 41(5):307-315.

Hayato Tsuda, Tomoko Aoki, Naohiko Oku, Yasuyuki Kimura, Jun Hatazawa, Hiroshi Kinoshita.: Functional brain areas associated with manipulation of a prehensile tool: a PET study. *Human Brain Mapping* 2009, 30(9):2879-2889.

上島 健, 嶋野広一, 水野貴子, 岸上雅彦, 倉澤茂樹, 津田勇人: 学生が記載した臨床実習後のお礼状に関する調査についてーハガキの宛名における適切さの分析ー. *リハビリテーション教育研究* 2009, 14:169-171.

田中康文, 森 光一, 元岡貴史, 沖田幸治, 河崎建人, 藤野文崇, 岸本 眞, 酒井桂太, 倉澤茂樹, 津田勇人, 高瀬敏幸, 大田喜一郎, 河崎 茂: 高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニンと理学療法による治療の検討(第2報). *Therapeutic Research* 2009, 30(1):93-99.

■社会活動

【非常勤講師】

肢体不自由者の心理・生理・病理. 武庫川女子大学文学部教育学科2年生, 2009.4-7.

身体障害作業治療学. 箕面学園保育福祉専門学校作業療法学科2年生, 2009年度.

運動学Ⅰ・Ⅱ. 箕面学園保育福祉専門学校作業療法学科1年生, 2009年度.

【嘱託委員】

大阪市障害程度区分認定審査会委員 西成区役所, 2009.4-2011.3.

長辻 永喜

■国内学会

【一般口演】

長辻永喜, 馬場昌子, 山田隆人, 尼寺謙仁, 萩原美智子: またぎ時における足底にかかる水平応力(すべり)に関する実験. 平成21年度日本建築学会近畿支部研究発表会, 大阪工業技術専門学校, 2009.6.20-21.

長辻永喜, 馬場昌子, 山田隆人: またぎ時における足底にかかる水平応力(すべり)に関する実験. 日本福祉のまちづくり学会 第12回全国大会, とかちプラザ, 2009.8.22-24.

山田隆人, 馬場昌子, 長辻永喜, 尼寺謙仁, 萩原美智子: 浴室での手すりを用いた立ち上がり動作の足底の水平応力(すべり)に関する研究その1. 平成21年度日本建築学会近畿支部研究発表会, 大阪工業技術専門学校, 2009.6.20-21.

山田隆人, 馬場昌子, 長辻永喜: 浴室での手すりを用いた高齢者の立ち上がり動作の特性と足底にかかるの水平応力に関する研究. 日本福祉のまちづくり学会 第12回全国大会, とかちプラザ, 2009.8.22-24.

【ポスター】

上島 健, 安藤啓司, 長辻永喜: 塗り絵作品における完成過程の傾向 ～作品の塗る順序に着目した考察～. 第43回日本作業療法学会, 福島県郡山市, 2009.6.19-21.

■社会活動

【講師】

障害者スポーツ指導者養成講習会. ファインプラザ大阪, 2009.1.18.

【学会運営】

社団法人大阪府作業療法士会 会長.

堺市 障害程度区分認定審査委員.

大阪府国民健康保険団体連合会 介護給付費審査委員.

大阪府医師会「医療モニター」.

大阪府高齢者介護予防・地域リハビリテーション推進委員.

日本作業療法学会 演題審査委員会.

阪神内部障害リハビリテーション研究会 世話人.

中裕 俊介

■国内学会

【一般口演】

久利彩子，珠数美穂，古井 透，岸本 眞，小杰武陸，酒井桂太，佐竹 勝，富樫誠二，中裕俊介：園芸療法と運動機能に関する研究への取り組み．第11回園芸療法研究会西日本研究・実践発表，大阪NPOプラザ，2009.8.23.

■勉強会

作業活動研究会．大阪河崎リハビリテーション大学，毎月第1木曜日．

OB・OG作業療法士精神科部門勉強会．大阪河崎リハビリテーション大学，毎月第4金曜日．

■社会活動

【非常勤講師】

情報科学．河崎会看護専門学校看護第1学科，2009.9-11.

人間関係論．学校法人履正社 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科，2009.4.

水野 貴子

■論文

【原著】

上島 健，嶋野広一，水野貴子，岸上雅彦，倉澤茂樹，津田勇人：学生が記載した臨床実習後のお礼状に関する調査について－ハガキの宛名における適切さの分析－．リハビリテーション教育研究 2009，14:169-171.

【報告】

嶋野広一，上島 健，水野貴子，倉澤茂樹，岸上雅彦：本学における地域貢献－健康教室参加者の新体力測定からみた一考察－．リハビリテーション教育研究 2009，14:187-188.

■社会活動

【公開講座主催】

健康教室「ヘルスケア 大阪河崎リハビリテーション大学」．河崎記念講堂 他，2009.5-12.

【非常勤講師】

リハビリテーション．河崎会看護専門学校 看護第1学科2年生，2009.4.15

バランスに着目したレクリエーション．総合学習教室 健康教養専科，尼崎市立総合老人福祉センター，2009.5.28

森下 孝夫

■著書【共著】

富田 豊，難波栄二，森下孝夫 著（シリーズ監修 奈良 勲）：標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第3版，医学書院，東京，248頁，2009.1.

■国内学会

【一般口演】

今村博和，幸福秀和，森下孝夫：臨床実習における学生の学習成績とストレスに関する一考察．第22回全国私立リハビリテーション学校教育研究大会，栃木県大田原市，2009.8.20.

佐野道治，川崎和宏，幸福秀和，森下孝夫：臨床実習の困難さにおける学生の性格傾向とストレスの関連性に関する一考察．第43回日本作業療法学会，福島県郡山市，2009.6.19-21.

横山めぐみ，幸福秀和，福井幸恵，大野 力，森下孝夫：臨床実習合格のための要素を考える－取り組みの

姿勢、性格傾向、ストレス状態からー。第25回大阪府作業療法学会，大阪府池田市，2009.11.29.

■社会活動

【学会運営】 社団法人 日本作業療法学会 演題審査委員.

【嘱託委員】 貝塚市介護認定審査委員.

<言語聴覚学専攻>

雨宮 徹

■勉強会

【一般口演】

フランクルの「態度価値」について。フランクル研究会，大阪ガーデンパレス，2009.11.22

フランクルの「態度価値」について。大阪府立大学文科系OB・OG研究会，茨木市立東コミュニティセンター，2009.9.20.

■社会活動

【非常勤講師】

哲学。河崎会看護専門学校 看護第2学科，2009.4-9.

倫理学概論Ⅰ。近畿大学，2009.4-7.

倫理学概論Ⅱ。近畿大学，2009.9-10.

【学会運営】

フランクル研究会。事務局，大阪ガーデンパレス，2009.4-2010.3.

國末 和也

■論文

【原著】

國末和也，三輪レイ子：騒音下聴取に困難を呈する児童生徒の聴取傾向。大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2009，3(2):31-41.

【その他】

國末和也：聴覚情報処理困難児の聴取傾向。日本特殊教育学会第47回大会発表論文集 2009，p.580

三輪レイ子，國末和也：精神病院における聴覚障害者ー高齢者の補聴器装用でのイヤモールドの工夫ー。AUDIOLOGY JAPAN 2009，52(5):296-297.

■国内学会

【ポスター】

國末和也：聴覚情報処理困難児の聴取傾向。日本特殊教育学会，宇都宮大学，2009.9.19-9.21

■講演会

【一般口演】

國末和也：聴覚情報処理が困難な子どもたち。中国教育オーディオロジー研究協議会，山口県立山口南総合支援学校 2009.8.20-21.

■社会活動

【講師】

きこえているけど…ことばがうまく聴き取れない子どもへの支援。泉佐野市立生涯学習センター，2009.1.18

進路選択 どうやって選ぶの？ どうやって決めるの？ 河崎会心のクリニック，2009.6.3.

発達障がい理解と支援。貝塚市教育庁舎，2009.8.3.

発声・発語指導，大阪市立中央青年センター，2009.8.4.

児童生徒の言語に関する課題の支援，福祉医療関係人材（言語聴覚士）活用事業，大阪府立佐野支援学校，2009.2-3

「発音グッズ作成1・2」「発音学習」「補聴器のフィッティング」「構音の評価」，聴覚・補聴学習会，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.2-11.

■研究助成

【共同研究】障害のある子どもの学習言語に関する基礎的研究－授業で使用する教科書及び指導者が使用する言語の把握－，研究代表者：藤本裕人，共同研究者：國末和也，独立行政法人国立特別支援教育総合研究所，平成21年度専門研究（D），2009.

鈴木 英鷹

■著書【単著】

精神保健学 第8版，清風堂書店，大阪，338頁，2009.4.

■論文

【原著】

鈴木英鷹：奈良時代の精神医学，精神医学 2009，51(2):137-145.

鈴木英鷹：『続日本紀』にみる奈良時代の医療福祉，大阪河崎リハビリテーション大学紀要 2009，3(2):3-22.

鈴木英鷹：藤原宮子の「幽憂」－『続日本紀』天平9年12月の記事について－，精神科 2009，15(6):594-598.

本多義治，鈴木英鷹，本多秀治，入澤 聡：地方都市精神病院における作業療法の草分け（大正初期における七山病院の取り組み），精神神経学雑誌 2009，111(9):1047-1054.

■国内学会

【一般口演】

鈴木英鷹，本多義治，本多秀治，入澤 聡：地方都市精神病院における作業療法の草分け（大正初期における七山病院の取り組み），日本精神神経学会第105回大会，神戸，2009.8.

鈴木英鷹，本多義治，本多秀治，入澤 聡：地方都市精神病院における作業療法の草分け第2報（昭和初期から戦前までの七山病院の取り組み），精神医学史学会13回大会，慶応義塾大学，2009.10.

■その他

藤田保健衛生大学医学部客員教授.

高瀬 敏幸

■著書

【その他】

高瀬敏幸：絵本へのいざないプログラム，pp.143-146，大阪市こども青少年局企画部企画担当編：なにわっ子わくわく未来プログラム，大阪市，2009.3.

高瀬敏幸：絵本へのいざないプログラム，pp.204-207，大阪市こども青少年局企画部企画担当編：なにわっ子わくわく未来プログラム（資料編），大阪市，2009.3.

高瀬敏幸：0・1・2歳児の絵本指導のポイント，pp.248-249，大阪市こども青少年局企画部企画担当編：なにわっ子わくわく未来プログラム（資料編），大阪市，2009.3.

■論文

【原著】

田中康文，森 光一，元岡貴史，沖田幸治，河崎建人，藤野文崇，岸本 眞，酒井桂太，倉澤茂樹，津田勇人，高瀬敏幸，大田喜一郎，河崎 茂：高齢者の逆流性食道炎と骨粗鬆症性楔状圧迫骨折に対するエルカトニ

ンと理学療法による治療の検討（第2報）. Therapeutic Research 2009, 30(1):93-99.

■講演会

【一般口演】

高瀬敏幸：口の動きの基礎知識 ～発音指導のポイント～. 近畿地区特別支援学校肢体不自由教育研究会, ア
ウィーナ大阪, 2009.8.20.

■社会活動

【講師】

言語聴覚士の指導・助言. 寝屋川市立あかつき園ひばり園, 2009.1-12.

小児の言語訓練を実施. 田中北梅田クリニック, 2009.1-12（月2回）.

特別支援学校教員への指導・助言. 大阪府立箕面支援学校, 2009.1-12（年6回）.

絵本へのいざないプログラム. 大阪市こども青少年企画部 なにわっ子わくわく未来プログラム実践研修,
大阪市都島区 他, 2009.8.27, 9.3.

発音に必要な口の動きの基礎知識. NPO法人チャイルズ4月度講演会, 大阪市立浪速人権文化センター,
2009.4.23.

家庭でできる発音指導のポイント. NPO法人チャイルズ7月度講演会, 大阪市立港区民センター, 2009.7.9.

ことばの発達を促す指導ポイント. NPO法人チャイルズ9月度講演会, 大阪市立港区民センター,
2009.9.17.

【公開講座主催】

育児や教育の中の“子どもの権利条約”. 地域の子育て支援ー子どもの力再発見ー, 大阪河崎リハビリテー
ション大学, 2009.1.17.

子どもの権利を考える ～子どもの悩みやつまずきにどう向き合うか～. 地域の子育て支援ー子どもの力再
発見ー, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2009.2.14.

【学会運営】

社団法人大阪府作業療法士会理事.

日本言語聴覚士協会評議委員.

大阪府言語聴覚士会業務安全検討委員会委員長.

近畿言語指導研究会会長.

高橋 泰子

■国内学会

【一般口演】

高橋泰子：乳幼児期にことばを育むための親の意識. 日本発達心理学会, 日本女子大学目白キャンパス,
2009.3.23.

■講演会

【教育講演】

高橋泰子：コミュニケーションと読み書きの支援. 徳島特別支援教育事例検討会 教育講演, 鳴門教育大学,
2009.8.23.

■社会活動

【非常勤講師】

食事能力アセスメント. 松原市通所型介護予防事業, 社会福祉法人聖徳会大阪老人ホーム, 2009.1-12.

【講師】

障害児教育特論. 和歌山大学特別支援教育専攻科 集中講義, 2009.9.2-5.

【ボランティア活動】

学習障害児のための指導教室 ことばの指導. one by one, 2009.1-3.

【嘱託委員】

言語聴覚障害の指導, 大阪府豊能町地域子育て支援センター, 大阪府豊能町福祉課, 2009.1-12.

巡回指導員（言語聴覚士）. 小・中学校における障害児への言語指導および教員への指導, 大阪府豊能町教育委員会, 2009.1-12.

特別支援会議委員 大阪府豊能町教育委員会.

豊能町要保護児童対策地域協議会委員 大阪府豊能町福祉課

【学会運営】

成人のための摂食嚥下障害セミナー. 本学言語聴覚学専攻主催, セミナー企画 大阪河崎リハビリテーション大学, 2009.1-3.

野村 和樹

■国内学会

【ポスター】

峰久京子, 野村和樹: ノート整理を課題とした理学療法教育に関する研究. 第44回日本理学療法学会, 東京, 2009.5.28-30.

■社会活動

【非常勤講師】

社会福祉援助技術演習Ⅰ. 大阪体育大学健康福祉学部2回生, 2009年度.

社会福祉援助技術演習Ⅱ. 大阪体育大学健康福祉学部3回生, 2009年度.

児童福祉論. 大阪体育大学短期大学部2回生, 2009年度.

【公開講座主催】

育児や教育の中の“子どもの権利条約”. 地域の子育て支援 ―子どもの力再発見―, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2009.1.17.

子どもの権利を考える ―子どもの悩みやつまずきにどう向き合うか―. 地域の子育て支援 ―子どもの力再発見―, 大阪河崎リハビリテーション大学, 2009.2.14.

【嘱託委員】貝塚市社会教育委員.

三輪レイ子

■論文

【原著】

國末和也, 三輪レイ子: 騒音下聴取に困難を呈する児童生徒の聴取傾向. 大阪河崎リハビリテーション大学 紀要 2009, 3(2):31-41.

【その他】

三輪レイ子, 國末和也: 精神病院における聴覚障害者 ―高齢者の補聴器装用でのイヤモールドの工夫―. AUDIOLOGY JAPAN 2009, 52(5):296-297.

■社会活動

【非常勤講師】

リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割. 山口大学大学院医学系研究科保健学系学域, 2009.4-12

リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割. 山口県立大学保健学科, 2009.4-12

視覚・聴覚二重障害. 山口コ・メディカル学院, 2009.4-12

【その他】

NPO法人「聴こえの研究センター」理事長.

矢守 麻奈

■著書

【共著】

宮本啓子, 矢守麻奈, Touger-Decker R., 菊谷 武, 江頭文江, 大谷千晴, 小林美佐枝, 島田由香里, 古橋啓子, 山下亜依子: I 高齢者の経口移行・経口維持と栄養ケア・マネジメント. pp1-49. 井形昭弘(編集代表): 高齢者の経口移行・経口維持、認知症、終末期の栄養ケア・マネジメントー「食べること」を支援するためにー(初版), 一般社団法人日本健康・栄養システム学会, 144頁, 2009.8.

■論文

【総説】

矢守麻奈: 摂食嚥下の諸問題(2) 摂食嚥下障害の見つけ方. 在宅ケアの感染対策と消毒 2009, 7(1):10.

矢守麻奈: 摂食嚥下の諸問題(3) 摂食嚥下障害を見つけたら ~早期の対応~. 在宅ケアの感染対策と消毒 2009, 7(2):20.

【原著】

井上典子, 矢守麻奈, 塩谷由美子, 浅井 悌, 金沢英二, 河崎建人: 咽喉頭熱傷により嚥下障害をきたした統合失調症の一例. 言語聴覚研究 2009, 6(2):77-82.

【調査報告】

大住雅紀, 山口勝也, 長谷川賢一, 矢守麻奈: 平成21年度介護報酬改定に向けてー要望を中心に. 言語聴覚研究 2009, 6(3):160-165

■国内学会

【一般口演】

西野 仁, 齋藤 務, 三木仁美, 加戸聖美, 久保珠美, 大山美希, 竹内千佳, 今本治彦, 彭 英峰, 菅野真美, 福田寛二, 矢守麻奈: 食道癌手術患者に対する食道癌嚥下リハビリテーションチームの活動. 第4回関西がんチーム医療研究会, 大阪, 2009.2.28.

西野 仁, 三木仁美, 齋藤 務, 加戸聖美, 久保珠美, 大山美希, 竹内千佳, 今本治彦, 彭 英峰, 矢守麻奈, 福田寛二: 食道癌術後反回神経麻痺を生じた患者の誤嚥性肺炎発生要因と対策の結果. 第15回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋国際会議場, 2009.8.28-29.

【ポスター】

有邊麻由, 岩川純也, 矢守麻奈, 尾形麻里子, 山内 仁, 大工谷新一: CO₂ナルコーシスによる気管切開患者に対する摂食・嚥下リハビリテーション. 第10回日本言語聴覚学会, 川崎医療福祉大学, 2009.6.13-14.

岩川純也, 有邊麻由, 矢守麻奈, 尾形麻里子, 山内 仁, 大工谷新一: 栄養サポートチーム(NST)における言語聴覚士の役割. 第10回日本言語聴覚学会, 川崎医療福祉大学, 2009.6.13-14.

齋藤 務, 土師誠二, 西野 仁, 三木仁美, 矢守麻奈, 福田寛二: NST嚥下リハビリテーションチーム介入患者における退院後の栄養状態. 第15回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋国際会議場, 2009.8.28-29.

■講演会

【招待講演】

矢守麻奈: 上手なコミュニケーションで認知症を防ごう. 平成20年度お達者サポーター養成講座, 貝塚市, 2009.1.13, 28.

矢守麻奈: 高齢者における摂食嚥下障害とリハビリテーション. 和歌山県伊都・橋本地域リハビリテーショ

ン広域支援センター リハビリテーション技術研修会，紀和病院，2009.2.7.

矢守麻奈：頭頸部癌の音声言語・摂食嚥下リハビリテーション．和歌山県言語聴覚士会第9回勉強会（日本言語聴覚士協会生涯教育専門領域ポイント対象研修会），和歌山県立医科大学，2009.2.21.

矢守麻奈：摂食・嚥下に関するリスクマネジメント．大阪府言語聴覚士会研修会，大阪市立大学医学部附属病院，2009.3.8.

矢守麻奈：高齢者の摂食嚥下リハビリテーション ～認知症の方を中心に～．大阪府認知症疾患医療センター事業研修会，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.3.14.

矢守麻奈：脳血管疾患後の音声障害．大阪府言語聴覚士会 構音障害分科会，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.3.18.

矢守麻奈：摂食・嚥下障害の早期発見・早期対応．第2回京都摂食・嚥下講習会，京都府立医科大学，2009.4.18.

矢守麻奈：高次脳機能障害者における摂食嚥下障害への対策．第14回新潟神経・言語障害学セミナー，新潟村上市教育情報センター，2009.8.1, 2.

矢守麻奈：摂食・嚥下リハビリテーションの効果的な進め方．日総研セミナー，札幌市，2009.5.30.

矢守麻奈：摂食・嚥下リハビリテーションの効果的な進め方．日総研セミナー，東京，2009.6.27.

矢守麻奈：摂食・嚥下リハビリテーションの効果的な進め方．日総研セミナー，名古屋市，2009.7.25.

長谷川賢一，矢守麻奈：摂食嚥下障害に関する法規と社会資源．日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士講習会，慶應義塾大学医学部病院，2009.8.8.

矢守麻奈：基礎講座：職種連携論．日本言語聴覚士協会 秋期全国研修会，奈良県文化会館，2009.11.22.

矢守麻奈：口腔機能維持向上に向けて ―摂食・嚥下のメカニズムと嚥下訓練―．日本栄養士会・全国福祉栄養士協議会 全国研修会，東京 ビッグサイト，2009.11.28-29.

矢守麻奈：摂食・嚥下訓練と歯科との連携について．日本訪問歯科協会 第2回関西ブロック研修会，大阪市，2009.12.5.

矢守麻奈：摂食・嚥下訓練と歯科との連携について．日本訪問歯科協会 第2回関西ブロック研修会，東京，2009.12.13.

【一般口演】

矢守麻奈：摂食訓練の実際．大阪河崎リハビリテーション大学言語聴覚学専攻公開講座，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.2.6.

矢守麻奈：疾患の特徴に即した嚥下リハビリテーション．大阪河崎リハビリテーション大学言語聴覚学専攻公開講座，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.3.6.

■社会活動

【講師】

松原市特定高齢者介護予防事業「らくらく健康教室」．社会福祉法人聖徳会 大阪老人ホーム，2009.1-12.

これからも元気に食べるコツ．大阪河崎リハビリテーション大学公開講座「健康教室」，大阪河崎リハビリテーション大学，2009.9.25.

上手なコミュニケーションで認知症も防ごう．平成21年度貝塚市お達者サポーター養成講座，貝塚市，2009.11.30.

【非常勤講師】

摂食・嚥下リハビリテーションの指導．近畿大学医学部附属病院，2009.1-12.

嚥下障害Ⅱ．日本福祉教育専門学校，2009.1.16, 24.

摂食訓練の留意点 ―高次脳機能障害―、職種間・施設間連携．日本聴能言語福祉学院，2009.1.23.

音声障害．大阪医療技術学園専門学校，2009.1.24, 11.21.

嚥下障害Ⅰ（成人）．国立障害者リハビリテーション学院，2009.5.8, 9, 16.

臨床栄養学実習 摂食嚥下リハビリテーション．武庫川女子大学短期大学部食生活学科 2009.6.5, 9, 10.

臨床栄養学実習Ⅱ．武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科，2009.9-12.

嚥下障害学（実習含む）．北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻，2009.9-2010.3.

言語聴覚療法セミナー．山口コ・メディカル学院言語聴覚療法学科，2009.12.19-20

【座長】

ポスターセッション11．第22回教育研究大会・教員研修会，日本リハビリテーション学校協会，国際医療福祉大学大田原キャンパス，2009.8.18-21.

第13群 嚥下．第54回日本音声言語医学会総会・学術講演会，福島，2009.10.15-16.

【公開講座主催】

成人の嚥下リハビリテーション．大阪河崎リハビリテーション大学言語聴覚学専攻公開講座 2008.7.11-2009.3.27 計5回開催.

【学会運営】

日本言語聴覚士協会 常任理事.

日本音声言語医学会 評議員.

日本嚥下障害臨床研究会 世話人.

関東嚥下訓練技術者講習会 世話人.

社団法人日本言語聴覚士協会設立総会 理事.

日本言語聴覚士養成校教員連絡協議会 理事.